

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公表番号】特表2009-522339(P2009-522339A)

【公表日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-549020(P2008-549020)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/395 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/165 (2006.01)
 A 6 1 K 31/519 (2006.01)
 A 6 1 K 38/46 (2006.01)
 A 6 1 P 19/06 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)
 A 6 1 P 17/06 (2006.01)
 A 6 1 P 17/02 (2006.01)
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)
 A 6 1 P 11/06 (2006.01)
 A 6 1 P 11/08 (2006.01)
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)
 A 6 1 P 25/16 (2006.01)
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 31/395
 A 6 1 K 39/395 D
 A 6 1 K 39/395 U
 A 6 1 K 37/02
 A 6 1 K 31/165
 A 6 1 K 31/519
 A 6 1 K 37/54
 A 6 1 P 19/06
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 P 11/08
 A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 9/10 1 0 1
 A 6 1 P 25/16
 A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月6日(2010.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

痛風または偽痛風の治療に用いるための、IL-I、またはNALP3インフラマソームによるその成熟を遮断する阻害剤を含むなる、医薬組成物。

【請求項2】

IL-Iが、IL-1 およびIL-1 からなる群から選択される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

NALP3インフラマソームによるIL-1の成熟を遮断する阻害剤が、NALP3インフラマソーム形成の阻害剤およびNALP3インフラマソーム活性の阻害剤からなる群から選択される、請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

NALP3インフラマソーム形成の阻害剤が、HSP90の阻害剤である、請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項5】

HSP90の阻害剤が、ゲルダナマイシン、17-AAG(17-(アリルアミノ)-17-デメトキシゲルダナマイシン)および17-DMAG(17-(ジメチルアミノエチルアミノ)-17-デメトキシゲルダナマイシン)からなる群から選択される、請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

IL-1を遮断する阻害剤が、IL-1の活性を阻害する抗体から選択される、請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項7】

抗IL-1抗体が、モノクローナル抗体である、請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項8】

IL-1を遮断する阻害剤が、IL-1とその受容体(IL-1RI型)との結合を阻害する抗体から選択される、請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項9】

抗体が、抗IL-1RI抗体である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項10】

抗IL-1RI抗体が、モノクローナル抗体である、請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項11】

IL-1を遮断する阻害剤が、IL-1受容体アンタゴニスト(IL-1Ra)である、請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項12】

IL-1Raが、アナキンラである、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項13】

IL-1、またはNALP3インフラマソームによるその成熟を遮断する阻害剤が、1日1回、IL-1活性を阻害するのに十分な用量で投与される、請求項1~12のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項14】

IL-1、またはNALP3インフラマソームによるその成熟を遮断する阻害剤が、1

週間に1回、IL-1活性を阻害するのに十分な用量で投与される、請求項1~12のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項15】

IL-1、またはNALP3インフラマソームによるその成熟を遮断する阻害剤が、1か月に1回、IL-1活性を阻害するのに十分な用量で投与される、請求項1~12のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項16】

アナキンラが、1日1回、100mg/日の用量で1、2または3日間投与される、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項17】

IL-1、またはNALP3によるその成熟を遮断する阻害剤が、少なくとも1種の第二の抗痛風化合物と併用される、請求項1~16のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項18】

第二の抗痛風化合物が、コルヒチン、アロプリノールおよびウリカーゼからなる群から選択される、請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項19】

IL-1、またはNALP3インフラマソームによるその成熟を遮断する阻害剤が、少なくとも1種の抗炎症性化合物または組成物と併用される、請求項1~18のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項20】

抗炎症性化合物または組成物が、プレドニゾン、ベタメタゾン、デキサメタゾン、メチルプレドニゾン、プレドニゾン、コルチバゾール、ヒドロコルチゾン、トリアムシノン、インドメタシン、スリダック、チアプロフェン酸、アルミノプロフェン、ジクロフェナク、エトドラック、フルルビプロフェン、イブプロフェン、ケトプロフェン、ナブメトン、ナプロキセン、メロキシカム、ピロキシカム、テノキシカム、セレコキシブおよびレフェコキシブからなる群から選択される、請求項19に記載の医薬組成物。

【請求項21】

炎症性障害の治療に用いるための、HSP90の阻害剤を含んでなる、医薬組成物。

【請求項22】

HSP90の阻害剤が、ゲルダナマイシン、17-AAG(17-(アリルアミノ)-17-デメトキシゲルダナマイシン)および17-DMAG(17-(ジメチルアミノエチルアミノ)-17-デメトキシゲルダナマイシン)からなる群から選択される、請求項21に記載の医薬組成物。

【請求項23】

炎症性障害が、痛風、偽痛風、マックル・ウェルズ症候群、遺伝性周期性発熱、家族性地中海熱、家族性寒冷誘導自己炎症症候群、ブラウ症候群、関節リウマチ、変形性関節症、全身型若年性特発性関節炎、乾癬、狼瘡、多発性硬化症、喘息、慢性閉塞性肺疾患、炎症性腸疾患、クローン病、アテローム性動脈硬化症、アルツハイマー病、パーキンソン病などの自己免疫および自己炎症性疾患からなる群から選択される、請求項21または22に記載の医薬組成物。